



四万十町

町内「ふら〜り」散策
私知らなかった私の町

見つけ

国道56号からくぼかわ病院方面へ向かつてすぐに小さな橋がある。戦国時代には現在の窪川の街中は、窪川茂串城のご城下であり、この橋の下を流れる小さな川を外堀と見立てて、ここに番所があった。ご城下への侵入を図ろうとする敵をこの番所で見付けるのが目的であったという。「見付」という地名の由来である。

見付は東西に続く地域である。南北にある山はそれほど切り立っているわけではなく、比較的ゆったりした平地が続き、田畑も広々としている。全戸で180数軒の見付地区。農家、非農家が混在している地域で、例にもれずこの見付地区でも高齢化が進んでいる。しかし、なかなか元気である。

平成元年から集落営農の充実を図っている。また、山の整備のため、有志が集まりボランティアで間伐を続けている。以前は切り捨てであったが、現在は作業道を作り間伐材を有価物として活かすように取り組んでいる。また、メ



郷土資料館「古溪城」

さて、6月に入ると約20日間にわたり人々の目を楽しませてくれる一角が、県道の南側にある。菖蒲園である。6アール程の面積いっぱいには数種の菖蒲が咲き乱れ、噂を聞きつけ、シーズンには町外から訪れる人も多い。

また、南東部の山に入り興津地区へと続く峠に、山の神として祀られている大きな岩の祠がある。その大きさは一見の価値ありである。

個人の私財を投じて作られた郷土資料館「古溪城」など、見付は見所満載の元気な地区である。

県道にある花壇のメンテナンスに、多くの住民が絶えることなく参加している。さらに「みつけ通信」という、地区の広報誌を有志が発行し続けていることにも、この地区の集落維持への心意気を感じる。



6月初旬から中旬が見頃の菖蒲園

町のうごき		人口		前月比		出生		死亡		転入		転出		適正值(mg/l)		6月8日	
男	9,064	-5	男	9	15	12	11	リン酸	≤ 5.0	測定値以下							
女	10,147	-9	女	4	6	14	21	硝酸	≤ 0.5	0.306							
計	19,211	-14	計	13	21	26	32	アンモニウム	≤ 5.0	測定値以下							
世帯数	8,779	1			(5月中の届出)			アニオン活性剤	≤ 1.0	測定値以下							
											化学的酸素消費量	≤ 10.0	0.60				

● 四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/> ●

※ 広報「四万十町通信」はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)

調査：大正(吾川)
資料：四万十高校自然環境部